

# 教育支援コーディネーター・フォーラム 2011(報告)

## ■ 当日の様子

### 第1部 教育支援コーディネーターと企業・団体との交流 (10時半から12時)

#### ・開会 (オープニングアクト)

約2年間で100校を超える学校でのコンサートを行ってきた、出展団体のひとつでもある human note (代表 寺尾仁志) のみなさんが、歌「みんなともだち」を開会冒頭に披露していただきました。



ネットワーク協議会コーディネーター部会のコーディネーター育成企画委員のおひとりで、今回のフォーラム企画の委員長 棕下聡美さん(特定非営利活動法人 世田谷まなびばネット代表)の進行で、スタートです。

#### ・オープニングメッセージ



文京区立駒本小学校学校支援コーディネーターの水木優香さんに、午前中の交流の活かし方について、過去にこのフォーラムで出会った団体との学校支援プログラムづくりをレポートしていただきました。

「既存のお持ちのプログラムだけではなく、相談を重ね、学校の実態に合わせたプログラムを一緒に作ってくださったことに感謝しています」

## ・情報交換会

会場となった大会議場ロビーには、並べられた35個の机に、出展団体それぞれが資料や展示、パソコンなどを並べて、地域の方々に説明する準備をしています。

コーディネーター参加地区と出展団体の紹介ののち、情報交換の時間となり、出展団体の各コーナーを参加者が訪問し、提供されている教育支援プログラムにじっくりと耳を傾けました。



【うさぎママのパトロール教室】



【特定非営利活動法人コモンビート】



【株式会社グラウンディングラボ】



【JICA 地球ひろば】



【読売新聞東京本社教育支援部】



【レセプションホールには学校支援ボランティア推進協議会事業実施地区によるパネル展示と、資料参加団体の参考資料が展示】

### 〔第一部の感想（地域コーディネーター）〕

- ・午前中は多くのNPOや企業の方々にお目にかかりたくさんの情報をいただきました。これらのプログラムをどう学校のニーズと結びつけるか。常に考え、学んだり、情報を得、詳細に理解していくか。かかわりをどのように広げ、つなげるかが常に自分の中で課題です。
- ・初めて参加しました。企業が多く参画してくださっていることに感動いたしました。
- ・12月に学校支援コーディネーターの任命を受けたばかりで、何もわからない状態から、本日のフォーラム参加により、今後しなければならないことが良くわかりました。
- ・ネットで探していると、自分の考える内容での企業、団体探しになってしまうが、出展形式ですと、全く知る事のなかった出前事業に出会うことができ良かったです。